

ちびっこひろばだより6月号

令和3年 6月1日(火)発行

社会福祉法人愛護会 金ケ崎町子育て支援センター

金ケ崎町西根高谷野原1072 Tel 44-3365 Fax 34-3700

[Eメールkosodatesien@aigokai.jp](mailto:kosodatesien@aigokai.jp) (ファックス番号が変更になりました。)



もうすぐ梅雨の季節がやってきます。元気なカエルの鳴き声も沢山聞こえる子育て支援センターには、今年もつばめが巣作りに何度も遊びにきてくれて、子どもたち、お家の方、スタッフみんなで大喜び。「今年もきてくれてよかった」と嬉しい声に、とても温かい気持ちになりました。

支援センターでは、コロナウイルス感染防止対策のもと、子どもたちがのびのびと遊べる場を作っていきたいと思えます。来所の際、健康状態等の確認をさせて頂いております。皆様のご理解、ご協力に感謝しております。

《6月の行事とお知らせ》

| 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------------------------|---|--|---|------------------|--------------------------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | 6月4日～10日まで、歯と口の健康週間です。 | | | びよびよ 保健指導員相談日 | |
| 7 | 8 | 9 | 10 午前 チューリップひろば 午後 チューリップひろば | 11 とことこ | 12 6月20日 (日)は、 父の日です。 |
| 14 | 15 南方サークル 「はあと♥ママ」 | 16 | 17 三ヶ尻サークル 「こっこクラブ」 | 18 びよんびよん | 19 |
| 21 永岡サークル 「ながままサークル」 | 22 チューリップ 広場開催日と なります。対 象のお友達以 外の利用はで きません。 | 23 午前 チューリップひろば 午後 チューリップひろば | 24 | 25 | 26 パパ 데이 |
| 28 | | 30 | センター利用につきましては、金ケ崎町の対応により、利用の制限がある場合があります。金ケ崎町のホームページ等をご確認の上、ご利用ください。また、支援センターの行事等の開催状況については、毎月発行の「ちびっこひろばだより」や支援センターブログ、ホームページのスケジュール等でお知らせしますので、ご確認ください。 | | |

<6月の主な行事>(10時30分頃～11時30分頃まで)

☆6月 4日(金) びよびよ(主に0歳児対象)

保健指導員相談日

☆6月11日(金) とことこ(主に1歳児対象)

☆6月18日(金) びよんびよん(主に2歳児対象)

金ケ崎町子育て支援センターは

☆ 月～土曜日まで(祝祭日は除く)

10時～16時まで無料開放しています。

☆ 子育てについてのメール・電話相談を受け付けております。お気軽に、ご利用ください。



金ケ崎町子育て支援センターの利用について

- ・マスクの着用をお願いします。
 - ・来所時の健康状態等(ご家族も含む)についての確認、検温をお願いします。
 - ・お弁当の持ち込みは、お休みとなっています。
- ご協力をお願いします。

月齢や年齢別のかかわりのポイントをご紹介します。

(2歳ころ) 手指のあそび・好き嫌いへの対応

- 手指のあそび～指先に力を入れて紙を折るなど、手指の細かい動作が可能になります。シールやテープをはがしたり、はったりが自分でできるようになるためあそびの幅も広がります。

● シールはがし・シールはり

ビニールテープを、窓ガラスや床などいろいろな素材に はがしたり、はったりすることを乐しみます。

又、いろいろな形の台紙(まる・しかく・いちご等)を用意すると、イメージをもち「あまーい、いちごだよ」等、シールはりを乐しみます。出来た台紙を飾ると、子どもたちは大喜び。

(遊びの前に、ビニールテープを切り準備しておくとういすよ。)



- 好き嫌いへの対応～食事面では、好みが出始め、苦手な物を嫌がるようになってきます。ただ、気持ちに大きく左右される時期でもあるので、意欲の出る言葉かけなどによって、少しでも納得して食べるという経験が大事です。

● 食べる意欲を引き出して

まず、楽しく食べることが大切です。食べ物の名前を伝えたり、家族や友達の食べている様子を話したり、一緒に見たりすることで、食べてみようかなという気持ちになります。

例えば……

「ニンジンだね。ウサギさんが大好きなんだよね。」

「〇〇ちゃん、大きなお口で食べてるね」

「カバさんのお口で食べる？それともソウさんのお口？」等



1つ、一口でも食べてみようという子どもの気持ちを大事にし、次の一口につなげていきましょう。



● 食べたことを褒められる体験を

ほんの一口でも食べられた時は、褒めることを大事にしましょう。「苦手だけど、自分の意思で食べた」ということを認められる経験が、次の意欲へとつながっていきます。